

修士課程

福祉社会専攻 <外国人留学生選抜>

外国人留学生選抜は
秋季(9月)入試と春季(2月)入試を
実施します。

福祉
社会

外国人
留学生

福祉社会専攻および人間福祉専攻への出願を検討されている皆様へ

福祉社会専攻および人間福祉専攻では定期的に関催する進学相談会のほかに、「個別相談」や「研究室訪問」を随時受け付けています。ご自身の指導教員や研究計画の検討に際して、こうした機会を是非積極的に活用するようにしてください。

個別相談や研究室訪問を希望する方は、以下の必要事項を記入（メール添付でも可）して大学院事務部大学院課多摩担当（現代福祉学部事務課）[fukushi@hosei.ac.jp] までメールにてお申込みください。

- ①希望専攻名（入学試験選抜区分 [一般・社会人自己推薦・外国人留学生のいずれか]）
- ②自己紹介（大学、学部、職業 [業務内容] 等も記載すること）
- ③研究テーマ（現在検討中の内容で可）
- ④相談希望教員名（指導希望教員名） * ご自身の研究テーマを踏まえ、研究科ホームページおよび研究科パンフレットを確認し、必ず相談希望の教員を記入して下さい。

[注意事項]

- ・ 臨床心理学専攻では個別相談・研究室訪問は実施していません。 大学院ホームページでお知らせする進学相談会にお越しください。
- ・ 出願後および出願期間中の個別相談には応じられませんのでご注意ください。
- ・ 担当教員に確認したうえでご紹介するまで若干のお時間を頂きます。出願期間開始日の直前にお申し込み頂いても出願締切日までに対応出来ない場合がありますので予めご了承ください。また、余裕をもって申込むようにしてください。

修士課程

福祉社会専攻＜外国人留学生選抜＞入試

1. 募集する課程、専攻および入学定員概要

課程	専攻名	募集人員
修士課程	福祉社会専攻	15名

入学定員は秋季及び春季の全入学試験方式をあわせたものです。

2. 出願資格

日本国以外の国籍を有し、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における15年以上の課程を修了し、学士の学位を有する者、又は2017年3月までに修了見込み（学士の学位を授与される見込み）の者
- (2) 外国に居住し、学士の学位を有する者、又は外国に居住し、2017年3月末までに修了見込み（学士の学位を授与される見込み）の者（但し、日本の大学で学士の学位を授与された者あるいは学士の学位を授与される見込みの者を除く）
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※注意 (2)～(4)の資格で受験を希望する者は、出願期間締切日の2ヶ月前までに大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）にて出願資格を確認すること。(4)の個別の入学資格審査の方法は39頁を参照のこと。

※注意 ダブルディグリープログラムにより学位を取得した者（見込みを含む）は、出願期間締切日の2ヶ月前までに大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）にて出願資格を確認すること。

3. 選抜方法

専攻	入学試験方法	選抜方法
福祉社会専攻	外国人留学生選抜	筆記試験（専門科目）及び口述試験（日本語による面接）

筆記試験の出題範囲および形式 **（※筆記試験の解答は日本語で行うこと）**

専攻	試験科目	出題範囲および形式
福祉社会専攻 (出題範囲および形式は、一般選抜、社会人自己推薦選抜、外国人留学生選抜ともに共通です。)	専門科目	<ul style="list-style-type: none">● 下記の領域に関する知識を問う問題から自由に3問を選択し解答。<ul style="list-style-type: none">・ ソーシャルワーク系（社会福祉の理論・援助方法など）・ システム・マネジメント系（保健医療福祉システム、福祉施設経営、非営利組織経営など）・ コミュニティ・デザイン系（都市・住宅政策、地域空間、地域文化、地域経営、地方自治など）● 上記領域に関する論述問題から1問を選択し解答。

4. 出願手続

(1) 入学検定料

35,000円（様式1の「振込依頼書・入学志願票」使用し日本国内から振込みのこと）

※海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地の銀行に申し出たうえで、必ず日本円で振り込んでください。詳細は大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）へ問合せてください。

(2) 提出書類 ※以下の a,e,f,g,h の書類は日本語で記入・作成してください。

※提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
a	入学志願票（C, D票） C, D票のみ提出。B票は各自保管のこと。（銀行印の押印を確認すること）	様式 1
b	卒業（見込）証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の卒業（見込）証明書	
c	成績証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の成績証明書 ※編入学・学士入学している者は、編・学士入学前の在籍校の成績証明書・在籍期間証明書も併せて各1通提出すること。	
d	学士学位取得（見込）証明書 1通（※注意①・②）	
e	入学試験面接カード 所定の用紙に必要な事項を漏れなく記入すること。 ※「指導を希望する専任教員名」は記入必須ですが、あくまで希望として記入するもので、合格、入学後の指導教員を決定するものではありません。正式な指導教員は入学後にあらためて希望を提出し、研究科教授会にて検討のうえ最終的に決定となります。	様式 2
f	研究計画書 2,000字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式3-1を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能）	様式 3-1
g	履歴書 必要事項を漏れなく記入すること。必ず捺印のこと。	様式 4
h	論文（卒業論文を含む）の概要またはこれまでの研究・社会的活動の概要 2,000字～4,000字程度。日本語で作成すること。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式5-1を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能）	様式 5-1
i	住民票 または 在留資格・期間を証明するもの 1通（外国人のみ） ・発行後3ヶ月以内のものを提出すること。 ・出願時に外国人登録をしていない者は、パスポートのコピーなど、在留資格・期間が分かるものを提出すること。 ※2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて住民票の発行を受けて提出してください。 ※必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。 ※マイナンバーが記載されていないものを提出してください。	
j	日本語能力に関する証明書 1通（コピーでも可）（※注意②） 受験している場合のみ、両方、あるいはいずれか1つを提出してください。 ・独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本語留学試験」の試験科目のうち、「日本語」の試験の成績通知書 1通（受験年度は問いません） ・財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1合格の認定書 1通	

※注意 ①外国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は、卒業（修了）証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本（日本語、英語以外）1通 + 翻訳（日本語もしくは英語のものを自分で用意）1通 + 大使館・公証処での公証 を全て揃えて提出してください。

②婚姻等により証明書（b, c, d, j）と異なる姓名になった者は、必ずこれを証明する書類（戸籍抄本）を提出してください。

③一旦提出した書類等は試験結果の可否に関わらず返還しません。

(3) 出願方法

①出願期間内に、検定料を銀行振込により納入すること。

②提出書類を所定の封筒により、出願期間内に大学院事務部大学院課多摩担当（人間社会研究科）まで郵送（書留速達）すること。

③出願は郵送のみとする。

(4) 研修生との併願について

福祉社会専攻<研修生入試>と同日に実施する福祉社会専攻の春季入試(2017年2月18日実施の<一般選抜><社会人自己推薦選抜><外国人留学生選抜>)のみ、研修生との併願を認めます。

出願時に入学志願票、入学試験面接カードの所定欄に併願についての選択をしてください。出願後の変更は一切認めません。なお、検定料は併願の場合でも35,000円です。併願を希望した受験生のみ、修士課程不合格の場合、研修生受験者として合否判定を行います。

(5) 出願先

〒194-0298 東京都町田市相原町4-3-42
法政大学 大学院事務部大学院課多摩担当(人間社会研究科)

5. 入試日程

(1) 秋季入試

①出願期間

2016年8月25日(木)～9月1日(木) (9月1日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

②試験日程

9月25日(日)	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:30
	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。
b. 試験時間中の途中退席はできません。

③合格発表

2016年10月7日(金) 10:00

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟(17号館) 1階エレベーターホール掲示板
法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格通知書および入学手続き書類を速達で郵送します。)

④入学手続期間

2016年12月1日(木)～12月8日(木)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

(2) 春季入試

①出願期間

2017年1月12日(木)～1月19日(木) (1月19日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

②試験日程

2月18日(土)	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:30
	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。
b. 試験時間中の途中退席はできません。

③合格発表

2017年3月2日(木) 10:00

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟(17号館) 1階エレベーターホール掲示板
法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格通知書および入学手続き書類を速達で郵送します。)

④入学手続期間

2017年3月3日(金)～3月10日(金)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

6. 試験会場

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟（17号館）
（試験教室は受験票郵送時にお知らせします。）

7. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類

- a. 学費納入済票
- b. 住民票（発行後3ヶ月以内のもの） 1通
- c. 写真（3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×3cm） 2枚
- d. 卒業証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通
- e. 成績証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通

※注意 2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて「住民票」の発行を受けて提出してください。また、その際、必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。

(2) 学費

入 学 金	200,000 円
授 業 料	530,000 円
教育充実費	60,000 円
合 計	790,000 円

※注意 ただし、入学手続時の納入金は入学金全額と、授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額（495,000円）で、残りの授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額（295,000円）は秋期に納入することになります。

上記の他、入学手続時に諸会費約3,000円が必要になります。

（2年次は上記のうち入学金以外の学費・諸会費が必要になります。）

(3) 長期履修制度(福祉社会専攻 修士課程)について

福祉社会専攻（修士課程）に限り長期履修制度〔通常の修了年限（2年間）を超えて3年間もしくは4年間にわたって長期に履修し、伴って必要な授業料を3年間もしくは4年間に分納すること〕の選択が可能です。

仕事と両立しながら学業にじっくり取り組みたい社会人にとって有為な制度です。

※教育充実費、諸会費は3年次・4年次にもそれぞれ必要になります。

※詳細については、入学手続時にご案内します（本制度は入学手続時のみ選択可能です）。

※在籍可能年限（4年間）は変わりませんのでご注意ください。

8. 注意事項

- (1) 一旦受領した検定料は返還いたしません。
- (2) 提出書類に不備があると、受験できなくなることがあります。十分注意してください。
- (3) 受験者が遅刻した場合、試験開始20分以後の受験はいかなる理由があっても認めません。
- (4) 受験会場では携帯電話等の時計としての使用は一切認めません。入室の際には、必ず電源を切ってください。
- (5) 受験当日は、付近の食堂が閉まっていることがあります。なるべく各自で昼食を用意してください。
- (6) 電話での可否の問い合わせには一切応じません。
- (7) 本学への入学手続を完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2017年3月31日（金）までに大学が定める手続きにより届け出を完了した者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等詳細は合格者に交付される「入学手続書類」を参照してください。
- (8) 入学後の修士論文の作成は原則として日本語で行うものとします。